

北九州市立小倉母子寮 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日(水) 13:00~16:30
- 2 場 所 小倉北区役所(西棟)7階 特別会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 阿南構成員、河崎構成員、大塚構成員、
田中構成員、田村構成員、小林構成員
(事務局) 子ども家庭局子育て支援課長、家庭支援係長
- 4 会議内容
 - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
 - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 構成員の互選により、座長を選出
 - 応募団体(社会福祉法人 孝徳会)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答を実施

【以下、質疑応答内容】

- (構成員) 外国籍母子が入所するケースもあると思うが、どのように対処しているのか。
- (応募団体) これまで4年間の中では、中国籍の母がいたが、その方は日本語通訳等されていたため、日本語も理解でき、現在は地域で自立できている。
最近、緊急一時保護で、一時的に避難してきたフィリピン人の母子がいたが、その方の場合は、子供が中学校で日本語教育をしており、ある程度話せていた。全く話せない、意思疎通できない方が来た際は、翻訳アプリなどを活用したり、国際交流協会などに協力してもらっている。
- (構成員) 居室が30室のうち10室ほど使用されていないのはなぜか。入所者の部屋の整備は現在取りかかっているのか。
- (応募団体) 理由としては、20、30年と長年使っている影響や、構造的にカビが生えやすかったり、など様々。
そのため、現在は設備を更新しながら、入ってきていただける方に、ここが新しい生活のスタートだというふうに感じてもらえる

ように努めている。

また、入所世帯数に関しては、全国的な傾向として少なくなってきた。

2個を1個にする（母子寮2つを）といった考え方もあるかもしれないが、そうすると、入所者の電気代その他負担が増えてしまうため、そのあたりは今後、子育て支援課と一緒に考えていきたい。

(構成員) 入所者が退所後の地域生活が円滑にできるよう、地域の民生委員などへの情報提供などを行っているのか。

(応募団体) 各世帯で状況が違いため、支援が必要な世帯については、保健福祉課、子ども・家庭相談コーナーなどと連携をとって頻繁に情報交換を行ったり、相談内容を共有している。
複雑に込み入った相談や身近な相談となると、どうしても慣れ親しんだ私どもの方に来られることが多いが、そうしたことも私どもの役割の1つだと思っている。
民生委員さんに繋がられるケースがあれば、しっかりと繋げていきたいと思っている。

(構成員) 入所者が就職などの情報入手のためのPCを配置しているか。

(応募団体) PCを設置せずとも、母親たちは自身のスマホで調べており、実際に就職支援をしているところに同行することの方が多い。
調べて欲しいという話があれば、私どもも調べたり、北九州若者サポートセンターへ繋がったりなどして、できるだけ長く働けるような、条件の合った就職先を探したりなどサポートを行っている。
他にも、奨学金の情報などをまとめたパンフレットなどもまとめているため、必要に応じて配布するなどしている。

(構成員) 入所者の満足度について、行事アンケートの満足度の割合を実績の90%より低い80%で設定しているのはなぜか。

(応募団体) 職員たちも一生懸命取り組んでくれており、とても嬉しい結果だが、90%以上というのはもらい過ぎかと思い、こういった設定にした。

(構成員) 施設の特性上、情報の管理が重要だと思うが、実習生が来た際などは情報の管理はどうしているのか。また、心理カウンセラーの資格が2級となっているが、認定心理士などの資格者を配置すべきではないか。

また、入所者がスマホで危険なサイトを利用しないようにするため、職員が危険なサイトを知っておく必要があるのではないかと。職員対象にそうした危険サイトの知識習得のための研修を実施してはどうか。

(応募団体) まず、実習生が来た際については、見ていい書類と、そうでない書類を完全に分けている。
また、公認心理士については、週3日勤務の非常勤の職員が在籍しているが、現在産休中のため不在のため、後任を探しているがなかなか見つからない。
そのため、現在は専門医と連携しながら、メンタル面等ケアを行っている状況。
危険サイト知識取得のための研修に関しては、入所者の子ども向けには行っているが、職員には未実施。今後検討していきたい。

- 構成員は、提案概要のプレゼンテーション及び質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

【以下、意見内容】

- ・心理士を設置し、メンタル面をケアするなど、しっかりと体制が整えられていることは素晴らしい。
- ・施設の老朽化に関して、30室のうち20室しか使用できないのは、改善できないのか。
- ・総合的に見て、とても熱心に入所者のことを考えており、素晴らしい。
- ・地域連携に関して、制約がもちろんあるのは理解しているが、施設を出た後は、必ず地域と関わりながら生活していくため、制約の中でも、もう少し地域と関わるべきではないか。
- ・施設長の人柄を見て、職員のこととても大切にされていると感じられた。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

【以下、総合的な所見内容】

- ・経験は十分にあり、信頼できる。
- ・朽化について、北九州市の担当部署の方と現地確認をして、対応してほしい。
- ・心理面でのサポート強化、入所者・職員の危機管理（アプリの利用等）の対策を期待したい。
- ・全体として母子寮の運営に真摯に向き合っている。
- ・法人は高齢者、障害者、保育関係の施設運営をしており、運営に必要な資格・経験がある。
- ・地域における母子支援の拠点としての新規の取り組みを検討している点を期待したい。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。